

第 29 回 山の街まちづくり協議会 次第

令和 8 年 7 月 18 日 14 時～

於：甲緑地域福祉センター

司会 原田

1. 会長あいさつ(5 分) 松岡会長

2. 協議会総会(6 月 20 日)の振り返り (辻)
 - 総会議事録案 (別紙)

3. 構想アンケートについて (辻)
 - 別紙および総会議案書第 5 号議案参照
 - ① 回収率
 - ② 回収促進策

4. 駅前整備計画についての住民意見収集 (辻)
 - 駅前についての多様な意見を聴取し、神戸市との協議にあたりたい
 - 8 月から 2 回程度駅前整備を考える会を開催したい
 - 特に若い世代の参加を呼びかけたい

5. 賑わい・活性化への取り組み案(加藤)

6. その他
 - 次回予定

山の街まちづくり協議会 令和 8 年度通常総会議事録

開会

令和 8 年度山の街まちづくり協議会通常総会は、6 月 20 日午後 2 時から甲緑地域交流センターで 34 ネイの出席で開催されました。

松岡会長は開会挨拶で、ワークショップを通じて住民の意見を集約し、「安全で暮らしやすい、にぎわいと笑顔あふれる山の街」を目指すことを表明しました。会長は北区や鈴蘭台のような過度なにぎわいではなく、山の街らしい静かで美しいまちづくりを目指したいと述べました。

北区役所地域協働課の岡野内課長は来賓挨拶で、やまバスの本格運行や山の街駅開業 91 周年イベントなど、地域の活発な取り組みを評価し、区役所としても継続的な支援を約束しました。議長には会計監査の川坂氏が選出され、議事録署名人として川坂氏と井筒氏が指名されました。

各議案については川坂議長のもと、次のように進められました。

第 1 号議案・令和 7 年度事業報告（案）

加藤副会長による令和 7 年度事業報告では、定例会 10 回、通常総会 1 回、まちづくりニュース 1 回発行、駅周辺再整備検討部会 4 回開催などが報告されました。特に山の街駅開業 91 周年イベントが 3 月 8 日に実施され、やきもち地蔵への参拝が行われました。また、まちづくり構想の文案作成と住民アンケートの準備が完了し、4 月以降の配布・回収が進行中であることが報告されました。

第 2 号議案・令和 7 年度決算（案）

柴田会計による令和 7 年度決算報告では、まちづくり助成金 30 万円、PTA 等からの収入 2 万円、その他 5,000 円で総収入 33 万 6,070 円となりました。支出は会議開催費 7 万 2,603 円、ニュース印刷費 1 万 5,400 円、アンケート関連費 1 万 560 円、郵送料 4 万 7,300 円、ホームページ関連費 14 万 590 円などで、総支出 28 万 2,443 円、助成金返納 1 万 7,347 円を差し引いて繰越金 3 万 6,070 円となりました。

第 1 号議案と第 2 号議案は、一括して採決され、承認されました。

第 3 号議案・令和 8 年度事業計画（案）

加藤副会長から説明。毎月の定例会開催、ニュース発行 2 回程度、アンケート集計、専門部会開催（駅前専門部会、山バス、警察との協議、神戸電鉄との話し合い）が予定されています。最重要課題として、まちづくり構想の確定と神戸市まちづくり条例に基づく認定協議会への移行が掲げられました。

第 4 号議案・令和 8 年度予算（案）

同じく加藤副会長の説明。収入 35 万 6,700 円（助成金 30 万円、その他収入 5 万 6,700 円）、支出 30 万円で繰越金 5 万 6,700 円が計画されています。

第 3 号議案と第 4 号議案は、一括して採決され、承認されました。

第 5 号議案・山の街まちづくり構想の承認に関する件

まちづくりアドバイザーの辻氏によるまちづくり構想承認に関する件への詳細説明では、3,393通配布したアンケートのうち 871 通が回収され、回収率 25.7%となりました。アンケート結果では、構想内容について 92%が「分かりやすかった」「概ね分かった」と回答し、95.1%が構想の考え方に共感を示しました。構想を正式に進めることについては 87.9%が賛成し、駅前三点セット（道路改善、交番復活、駅前整備）については 93%が重要と回答しました。86%の住民が今後も山の街に住みたいと回答しています。

構想の基本理念として「安全で暮らしやすい、にぎわいと笑顔あふれる山の街」が提示され、山の街の評価点として周辺自然環境の豊かさ、静かで落ち着いた住環境、治安の良さ、都心へのアクセスの良さが挙げられました。課題としては安全安心の確保、生活利便性の向上、交通移動の不便さ、コミュニティの希薄化、子育て環境の充実、人口減少・空き家問題、山の街らしさの発信、歴史文化の継承などが整理されました。

質疑応答では、濱氏から「山の街らしさ」という文言をスローガンに反映させる提案があり、辻氏は「現段階では変更せずに今後の検討課題として柔軟に対応する」旨の回答がありました。防犯カメラの設置について議論があり、神戸北警察署の大野氏は防犯カメラの重要性を強調し、住民の協力を求めました。アンケート回収率向上については、神戸市まち再生推進課の木戸氏が地域の総意として受け取るためにはより高い回収率が必要と指摘しました。

第5号議案は、採決により承認されました。

総会終了後の意見交換では、高橋氏から駅前商店街の歩道整備について具体的な改善要望が出され、加藤氏は民有地の問題として地権者との協議が必要と説明しました。また「やまバス」の停留所追加について、こやまクリニックの協力により緑町8丁目住民の利便性向上が検討されることになりました。

令和8年6月20日

議事録署名者

アンケートの状況と回収促進策

1. アンケートの回収状況分析

アンケート配布回収状況(令和8年6月13日現在)

対象自治会(団体)	アンケートNo	配布数	回収数	回収率
百合ヶ丘むつみ会	0001～700	600	117	20%
山ノ街自治会	2001～2745, 2751～2950, 721～820	1,114	351	32%
山の街関係	1266 78 79 88 95 96, 2930～2934	11	3	27%
百合が丘自治会	1001～1500	250	171	68%
ライブシティー	1300～1499, 1501～1862, 2746～2750	512	91	18%
緑園都市壱番館	900～921, 1240～1241	24	3	13%
ウィルブラジエファースト	1242～1265	15	3	20%
緑園都市自治会	2951～3000, 821～894	124	42	34%
ケアホームほくとⅡ	895～899, 922～961	43	9	21%
不在地主(郵送分※)	3000～3377	283	25	9%
その他	9999	-	56	-
合計		2,976	871	29%

※郵送378通－不達返送95通＝実質283通

2. 今後の予定

- ① 配布数の再確認(手持ち数)
- ② 回収促進広報
 - ・まちづくりニュース(別紙)の全戸配布(総会報告と併せる)
 - ・まち中、駅の掲示板への呼びかけポスター掲示
- ③ 個別声掛け(自治会以外難しいか?)

山の街まちづくりニュース No.4 (案)

1. 令和 8 年度通常総会が開催されました

- 6 月 20 日午後 2 時から甲緑地域交流センターで 34 名の出席で開催されました。
- 議案は次のとおりで、各議案とも承認されました。
 - 第 1 号議案：令和 7 年度事業報告（案）
 - 第 2 号議案：令和 7 年度決算報告（案）
 - 第 3 号議案：令和 8 年度事業計画（案）
 - 第 4 号議案：令和 8 年度予算（案）
 - 第 5 号議案：まちづくり構想案の承認
- 第 5 号議案のまちづくり構想案の承認は、実施中のアンケートのもとになる資料として配布した「素案」を総会で承認しました。
- このアンケートの回答において、「素案」に対する賛同率が次ページのとおり非常に高く多くの賛同を得ていることから総会において承認される運びとなりました。
- 質疑応答では、「山の街らしさ」という文言をスローガンに反映させる提案があり、「現段階では変更せずに今後の検討課題として柔軟に対応する」旨の回答がありました。
- 防犯カメラの設置について議論があり、神戸北警察署から防犯カメラの重要性を強調し、住民の協力を求める発言がありました。
- アンケート回収率向上については、神戸市まち再生推進課から「地域の総意として受け取るためにはより高い回収率が必要」との指摘がありました。



2. アンケートの回収を続けています

- アンケートの回収率は 30% 程度と必ずしも高いとは言えず、当協議会がめざす神戸市まちづくり条例に基づく「認定協議会」となるには、総会において、神戸市からも「高い回収率が必要」との指摘があったように、さらに回収率を高める必要があります。
- このため、アンケートの回収を 8 月末まで延長します。未回答の方は期間内に回答いただきますようお願いいたします。
- 配布しましたアンケート票は、山の街郵便局前に設置しています回収ポストに投函して下さい。ほかにスマホや PC を使った回答も可能ですのでご利用下さい。

<https://yamanomachitp.com/2026/03/26/newspaper2026/>



◆アンケートの配布回収状況（6 月 13 日現在）

	配布数	回収数	回収率
地区内住宅事業所	2,693	846	31.4%
地区外自家主	283	25	8.8%
合 計	2,976	871	29.2%

3. アンケート結果の概要

(1) 意見のまとめ

- 「山の街まちづくり構想（素案）」については、回答者の多くに内容が理解され、構想の考え方についても高い共感が示されました。
- また、構想素案を今後、地域の正式な「まちづくり構想」として進めていくことについても、「この内容で進めてよいと思う」「大筋で賛成だが一部見直しが必要」を合わせて多数の賛同が得られました。
- 一方で、自由記入や理由記入では、構想の具体性、今後の進め方、駅前周辺整備、道路・踏切・歩道の安全性、買い物・生活利便性、防犯、公共交通などについて、さまざまな意見や要望も寄せられました。これらは、構想そのものを否定するものというよりも、今後の具体化にあたって十分に検討すべき課題として受け止める必要があります。
- したがって、本協議会としては、アンケート結果を踏まえ、「山の街まちづくり構想（素案）」を基本としつつ、寄せられた意見を今後の協議会活動や具体的な取り組みの中で丁寧に反映していく必要があることを確認します。
- 以上の経過とアンケート結果を踏まえ、「山の街まちづくり構想（素案）」を、地域の正式な「山の街まちづくり構想」として本総会で承認されました。

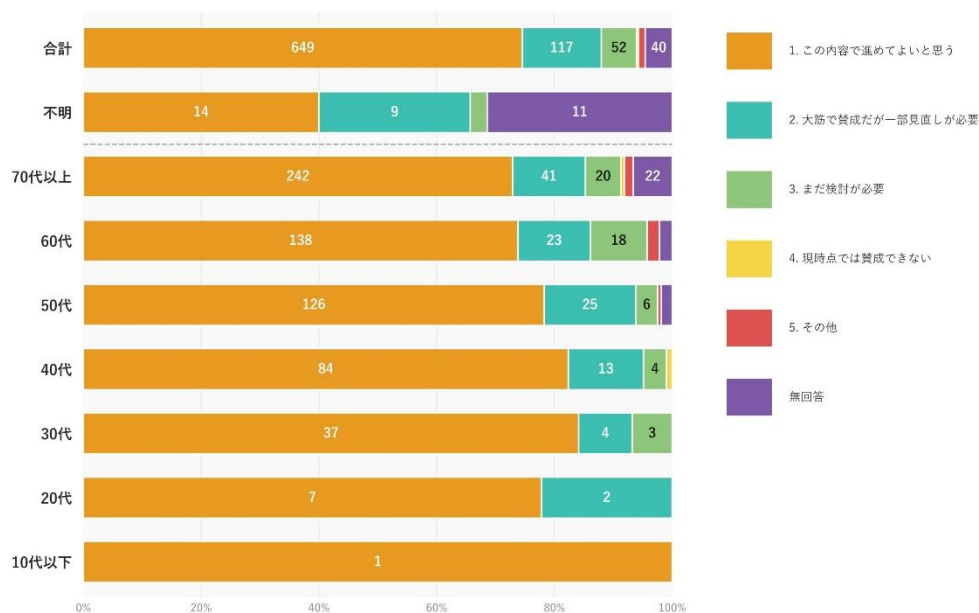
(2) 回答の集計結果（抄）

◆ 問〇２ 構想の考え方に共感できますか。



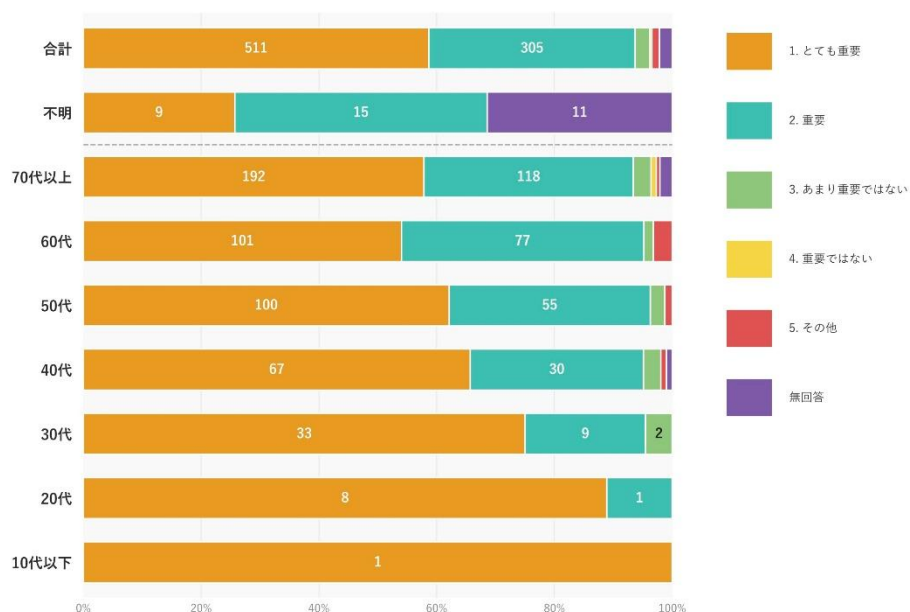
- 「構想素案」の考え方への共感率は「とても共感できる」358件、41.1%、「ある程度共感できる」470件 54.0%、合計 828件、95.1%と高いものがあります。

- ◆ 問〇3 この「山の街・まちづくり構想（素案）」を、今後、地域の正式な「まちづくり構想」として進めていくことについて、どう思いますか。



- 「この内容で進めてよいと思う」649件、74.5%、「大筋で賛成だが一部見直しが必要」117件、13.4%、合計 766件、87.9%と高い支持を受けています。

- ◆ 問〇4 「駅前三点セット（道路・交番・駅前整備）」を重点的に取り組むべきとしています、そう思いますか。



- 「とても重要」511件 58.7%、「重要」305件、35.0%、合計 816件、93.7%と高い支持率を示しています。

◆ 問〇5 次の中で、特に優先して取り組むべきだと思うは？（複数可）。



- ・各世代を通じて「駅前や道路の安全対策」「防犯」「利便性」に対する優先順位の高さが確認できます。
- ・「子どもの居場所・子育て環境」「高齢者の移動のしやすさ」への要望は、該当する年代によって差が見られます。

◆ 問〇7 ご意見・ご要望があればお書きください（自由記入）

全回答中 260 に記入がありました。これを意見の内容で分類整理して整理しました。

最も多い意見分類は、駅前クランク道路、踏切、歩道の狭さ、路上駐車、スピード車両などの駅前周辺整備に関する事項です。次に、ミニコープ存続、スーパー・コンビニ・飲食店などの 買い物・商業利便 が続きます。

分 類	件数	割合
駅前周辺整備・交通安全（道路・踏切・歩道等）	106	40.8%
買い物・商業・飲食の利便性	50	19.2%
構想の進め方・感謝	26	10.0%
駅舎・改札・ホーム改善	17	6.5%
高齢者の移動・坂・公共交通	14	5.4%
空き家・空き地・景観環境・管理	12	4.6%
件口減少・活性化・まちの魅力	11	4.2%
防犯・交番・夜間照明	9	3.5%
子育て・若年層・子どもの居場所	8	3.1%
交流・地域拠点・自治会	7	2.7%
合 計	260	100.0%

＜参考＞アンケート回答の取り扱い（案）

- ・全体として「山の街まちづくり構想素案」に対する支持は高いことが分かりましたが、問 03 と問 04 でのご意見への対応を次のように考えます。

問 03 での意見を整理すると下表のとおりとなります。

分類	意見の要旨	考え方
構想の具体性・進め方	構想の内容に全く共感できない。	何が問題か聞き取りたい
景観・自然・住環境・美化	計画を優先することで、今の静かで住みやすい街の雰囲気は損なわれそう。	構想→計画→実施と段階を踏んで取り組むことの必要性をご理解いただきたい
	発想は理解するが、実際に歩いている実感から、成功はしないと思う。	頑張りましょう
構想の具体性・進め方	構想をどう実現するのかが全く分からず、構想を作ること自体が目的になっている印象がある。	構想→計画→実施と段階を踏んで取り組むことの必要性をご理解いただきたい
	方向性と目標が多様化しすぎて、うまくいかないと思う。	頑張りましょう
道路・踏切・歩行者安全	良い事ばかり言い過ぎている。不便な事もある。	不便を解消するための考えを整理しています
	駅だけが立派になっても、道路や医療・買い物環境が伴わなければ、住みたい町にはならない。	そのとおりです。全体の環境を向上させたいものです
	交通量が増えるような案件は反対。	交通安全の考え方について議論しましょう
	山の街駅下り線側の道路改善・拡張は、沿道家屋が多く、現実感が乏しい。	具体的な課題についての検討が必要である認識を持っています
買い物・商業・飲食の利便性	新しい賑わいづくりに多額の費用がかかり、既存店舗の閉店につながるのではないかな。	費用の負担と既存店舗の継続性についての議論が必要ですね

4. 今後の予定

- (1) 駅前整備計画についての意見交換会
- (2) 郵便局前のアンケートと箱、WEB 回答の QR コードなど